

MY LUMENS

Altemis Far UVC 除菌間接照明  
機器取扱説明書

製品型番

Baselight222 / Downlight222

株式会社 ASK TRADING

## 目次

安全上のご注意（かならずお守りください） .....	4
絵表示について .....	4
危険 .....	5
警告 .....	5
注意 .....	6
使用上のご注意 .....	8
各部の名称と機能 .....	10
運転モードの説明 .....	11
有人モードについて .....	11
無人モードについて(工場出荷時) .....	12
有人モードの起動時間設定 .....	13
(1)最初に電源を入れた時 .....	13
(2)有人モードの自動スタート時間を早めたい場合 .....	13
(3)有人モードの自動スタート時間を遅らせる時 .....	13
(4)長時間使用しなかった場合や停電があった時 .....	13
近接センサ、人感センサの動作 .....	15
近接センサの動作 .....	15
人感センサの動作 .....	16

リセットと起動操作.....	17
動作表示 LED 動作表示.....	18
仕様.....	19
保証.....	20
保証について.....	20
保証の免責事項.....	20
部品について.....	21

この度は MY LUMENS Altemis Far UVC 除菌間接照明機器をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本機はご使用になる方や他人への危害や財産の損害を未然に防ぎ本機を安全に正しくご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

**注意** ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書には、事故を防ぐために重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後はいつでも見られるところに保管し、必要な時は都度ご覧ください。

本装置および本装置を使用した製品または本装置にかかわる技術は「外国為替及び外国貿易法」の規定により、安全保障貿易管理貨物及び技術に該当する場合があります。

※本製品はウシオ電機株式会社が開発した Care222®の技術を使用しています。

※Care222®は、ウシオ電機株式会社の子会社である Ushio America, Inc.の登録商標です。

## 安全上のご注意（かならずお守りください）

ご使用前に必ず「安全上のご注意」を最後までお読みになり、正しくご使用ください。「安全上のご注意」では、ご使用になる方や他の人への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくための重要な内容を記載しています。

### 絵表示について

本書は誤った取り扱いで生じる恐れのある危害や損害の程度を、次のような絵表示を使用して区分けしています。

内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **危険** 「誤った取り扱いをすると人が死亡、または負傷を負う可能性が高いと想定される」ことを示します。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡、または負傷を負う可能性が想定される」ことを示します。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性がある」ことを示します。

各注意事項には「注意」、「禁止」、「指示」を促す絵表示が付いています。

 記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。具体的な注意事項が描かれています。

 記号は禁止（してはいけないこと）行為を告げるものです。具体的な禁止内容が描かれています。

 記号は指示（必ず）する行為を告げるものです。具体的な強制内容が描かれています。

## 危険

-  本装置の近くでは、引火の恐れのあるものを使用しない  
本装置の近くでは、薬品や酸素、水素等の可燃性および引火性の気体(液体)を使用しないで下さい。発火、爆発の恐れがあります。
-  分解や改造をしない  
分解や改造をすると、落下や火災、感電、怪我の原因になります。内部の点検や修理は販売店にご依頼ください。
-  濡れた手で本装置の操作をしない  
濡れた手で本装置の操作を行うと、感電の原因になります。

## 警告

-  使用中は本装置を紙や布で覆わない、密閉した空間で使用しない  
本装置を覆ったり密閉したりすると内部に熱がこもり、火災や故障の原因になる事があります。
-  本装置に水や液体をかけない  
水や液体が内部に入ると火災や感電の原因となります。万一、水や液体が入った時は直ちに主電源を切り、販売店までご連絡ください。
-  次の様な場所では使用、保管しない
  - ・液体の掛かる場所
  - ・水滴、水蒸気にさらされる場所(湿度の高い場所)
  - ・埃の多いところ上記の様な場所や取扱説明書に記されている使用、保管条件以外の環境に設置すると、感電、負傷、故障、誤動作の原因となります。
-  誤った使用や乱暴な取り扱いをしない  
ケーブルの断線等により、火傷や火災など、思わぬ事故の原因となります。
-  除菌用途以外の目的では使用しない

本装置は部屋の除菌を行うための装置です。除菌以外の目的に使用すると、思わぬ事故の原因となります。

また本装置は医療機器として使用する事はできません。



近接センサ送受信部、人感センサを紙や布で覆ったりしない

本製品は JIS Z8812 に定められている 1 日に浴びる紫外線曝露の許容量は、222nm の場合  $22\text{mJ}/\text{cm}^2$  (8 時間/日) を超えない様に近接センサと人感センサで制限しています。近接センサと人感センサが正常に働かないと 1 日に浴びる紫外線の許容値を超える原因となります。



紫外線照射窓が割れたら直ちに使用を中止してください

紫外線照射窓は、目や皮膚への影響が大きい紫外光をカットする役割をしています。照射窓が割れた状態で使用すると有害な紫外光が漏れて目や皮膚に障害を起す恐れがあります。

## 注意



規格以上の紫外線を人体に照射しない

JIS Z8812 では紫外線曝露の許容量は、222nm の場合  $22\text{mJ}/\text{cm}^2$  (8 時間/日) を超えない様に定められています。運転設定時に想定した照射窓から人体までの距離よりも接近して作業する場合は長袖などで皮膚を、ゴーグルなどで目を保護する様にしてください。



次の様な場所では使用、保管しない

熱源の近くや直射日光の当たる場所

紫外線検知式炎センサが近くにある時

電力の供給が不安定で、電源電圧が異常に変動する場所

塩分、硫黄分などを多く含んだ空気にさらされる場所

振動、衝撃がある場所、床が水平でない場所および不安定な場所

強電解、強磁界、高周波を発生する装置の影響のある場所

屋外や軒下などの湿度、水気のある場所

直接、雨、風の当たる場所

粉塵の発生する場所

腐食性ガス、塩素ガス、硫黄成分などの発生する場所

オイルミストが発生する場所

周囲温度が 5～40℃の範囲を超える場所



装置に強い衝撃を与えたり落としたりしない

本装置に強い衝撃や振動が加わると破損、故障が発生し怪我の原因となります。



照射窓に触ったり、物を置かない

故障や思わぬ事故の原因になります。



光過敏の方に対して

紫外線の皮膚における吸収特性から 222nm の光線過敏の方への影響は、太陽光に含まれる紫外線を浴びた場合より少ないであろうと考察されますが、光過敏を有する方には長そでや帽子など、日頃の太陽光紫外線対策と同様の対応をしてください。



妊娠している方に対して

妊娠されている方は一般に紫外線に対して肌が敏感になる傾向にあると言われていいます。妊娠されている方は長そでや帽子、日焼け止めクリーム等、日頃の太陽光紫外線対策と同様の対応をしてください。



照射窓からの光を直視しない

近距離での直視は避けて下さい、目に違和感が生じる可能性があります。



本装置の紫外線放射に関して

IEC62471 に定められるリスク分類では免除グループとなるよう設計しておりますが、照射窓が破損すると有害な紫外線が漏れ、目や皮膚に障害を起こす恐れがありますので直ちに電源をお切りください。



本装置の使用には適切な指導をする

経験、知識の不足した人(子供を含む)などは適切な指導なしに製品を使用しないでください。子供が製品で遊ばないようにご注意ください。

植物は紫外線に対して敏感です。植物の種類によっては葉がしおれ、枯れてしまうことがあります。

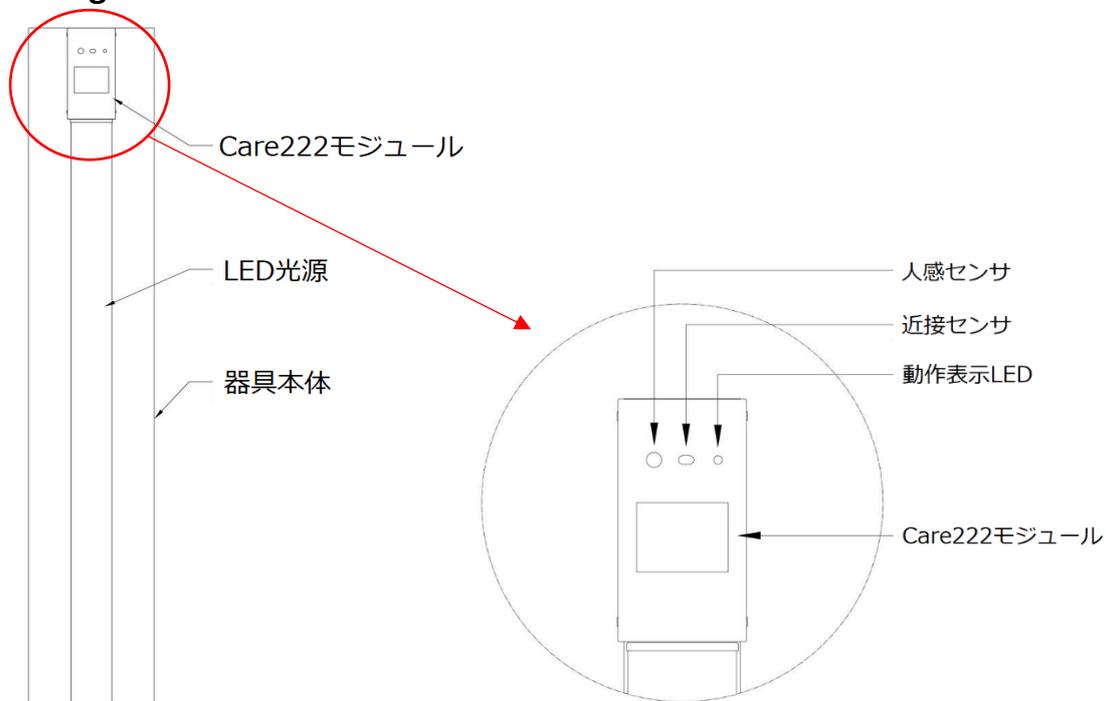
## 使用上のご注意

- ・照射窓にひび、割れが見られた場合には直ちに電源を落としてください  
有害な紫外光が漏れ、目や皮膚に障害を起こす恐れがあります。
  - ・照射中、照射直後に照射窓付近を素手で触れない事  
照射中、照射直後は照射窓およびその周辺部は高温になっている可能性があります。そのため照射窓やその周辺部には触れない様にしてください。
  - ・壁、家具やカーテンから 10cm 以上距離を空けてください  
装置内部の温度が高くなり、装置の寿命が短くなる場合があります。
  - ・近距離で壁紙、樹脂に照射しないでください  
紫外線は壁紙、樹脂製品などを劣化させます。近距離で照射すると急激に変色する恐れがあります。
  - ・照射によりにおいが発生することがあります  
照射中ににおいが発生する事がありますが、人体に害となる成分のにおいではありません。照射中にオゾン臭が発生する事がありますが、微量であるため人体に害となることはありませんが、気分が悪くなった場合は直ちに使用を中止してください。
  - ・ラジオやワイヤレス方式の機器は、なるべく本装置から離してご使用ください  
雑音が入る場合があります。
  - ・本装置内部から音が発生することがあります  
点灯直後・消灯直後に「ピシ、ピシ」、「ブツ、ブツ」等のプラスチックの収縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
  - ・点灯中、照射距離 1m 以内へ人が立ち入らないようにしてください  
長期間の紫外線照射により、塗装面にチョーキング(塗装表面が粉状になる現象)が発生する可能性があります。性能に影響はありません。
- お手入れの際は、以下のことを守ってください
- ・電源を必ずお切りください。
  - ・金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。

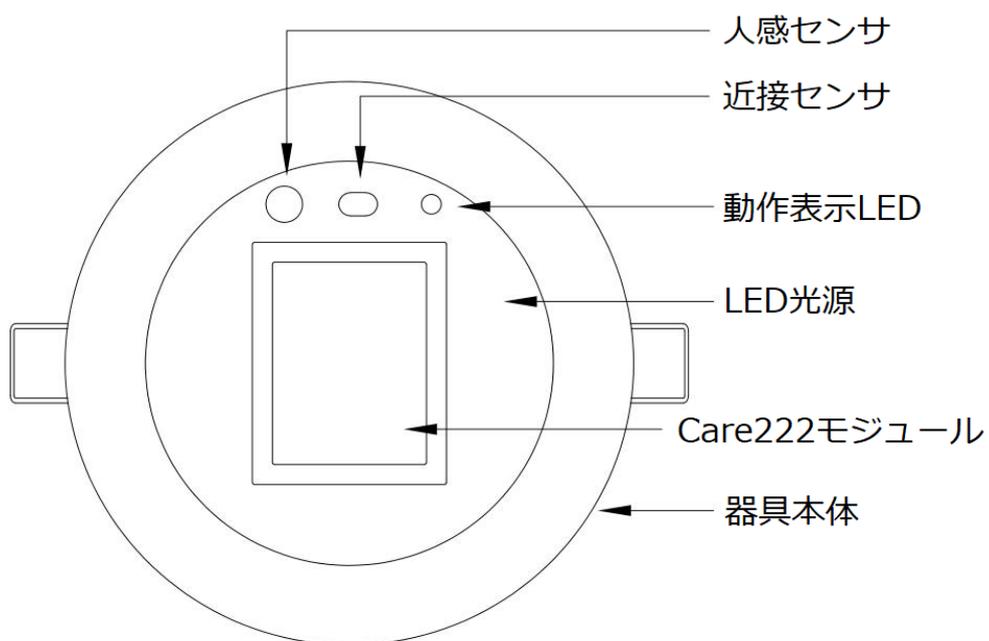
- ・ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。
- ・照射窓面が汚れたら、きれいな柔らかい布などに中性洗剤を薄めた水を含ませて軽く拭き取った後、乾いたきれいな柔らかい布などで水分を拭き取ってください。

## 各部の名称と機能

### Baselight222



### Downlight222



## 運転モードの説明

本装置には、有人モードと無人モードの 2 種類の運転モードがあります。有人モードは、また高さ 3 メートルと 4 メートルの有人モードを分けます。取り付け高さが異なると、装置の運転時間も異なります。

運転モードの設置とディップスイッチの操作については「設置説明書」をご参考ください。ご不明な点がございましたら販売店へご確認ください。

### 有人モードについて

電源を入れると 15 秒間ウォームアップします。その後、本装置は人体を検知しないと休止状態になります。ウォームアップ後、人体を検知した場合、15 秒点灯、200 秒消灯の点滅動作を繰り返します。有人モードは 8 時間継続し、その後無人モードを 16 時間継続し、翌日の同時刻に有人モードに戻る運転を 24 時間周期で繰り返します。

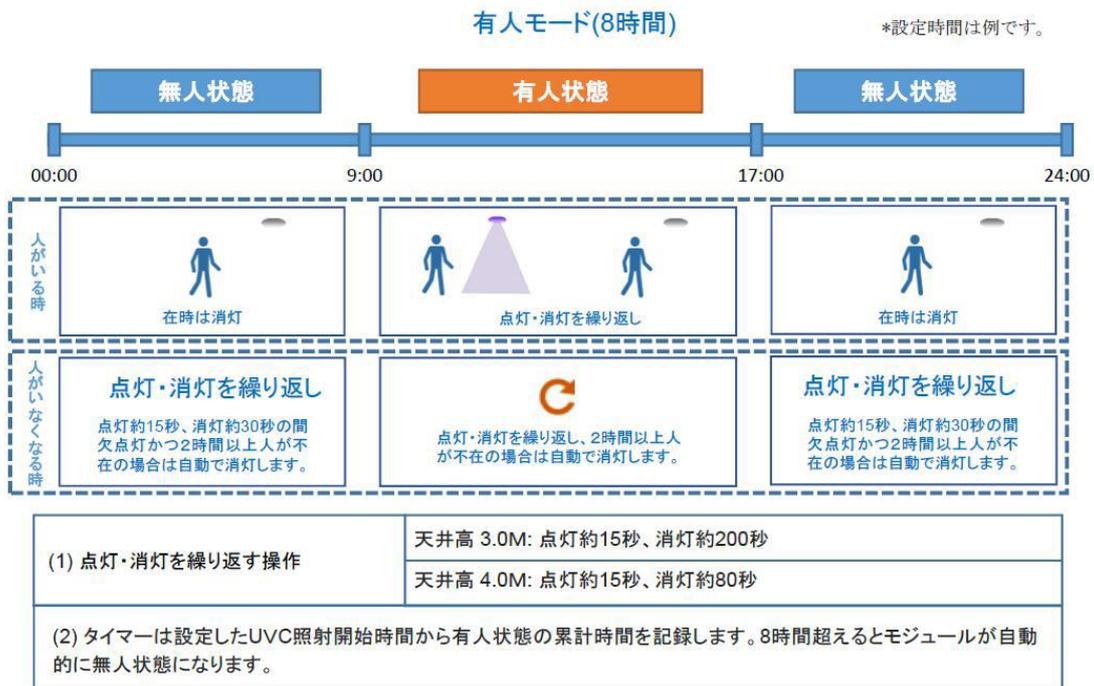
繰り返し動作中や休止状態中、人体や物体が UV-C の照射範囲 1 メートル以内に入ると、UV-C が強制的に停止します。人体や物体が UV-C の照射範囲 1 メートル以上離れると、UV-C が自動的に動作します。連続 2 時間人体を検知しなかった場合、UV-C は休止状態になります。

本装置は電源を入れると、有人モードが毎日、設置完了した時間に自動的に起動します。電源を入れなくても、有人モードの運転時間は設置完了した初期時間から累積します。(もし停電が 48 時間未満の場合、改めて有人モードのスタート時間をセットする必要はありません)

#### 有人モード:

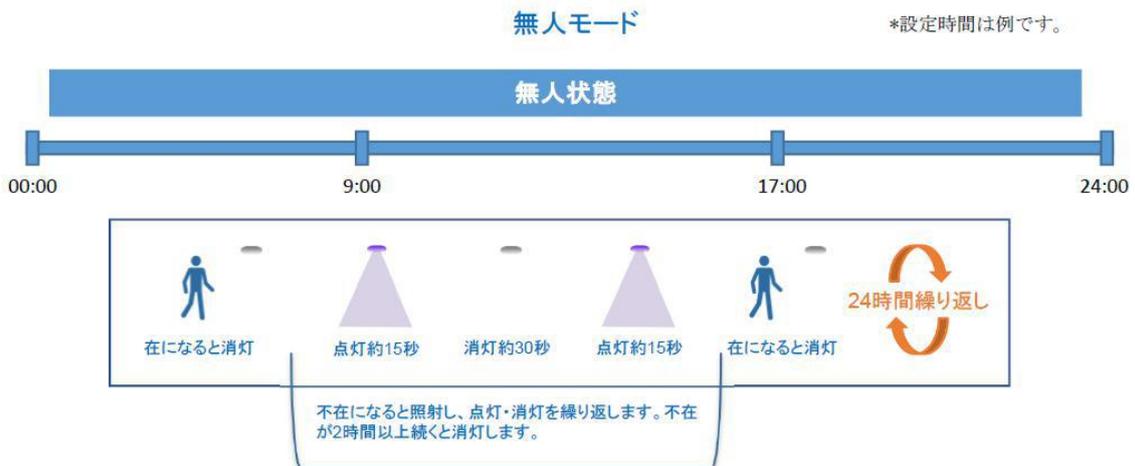
取り付け高さ 3 メートルの場合は、UV-C が 15 秒点灯、200 秒消灯の点滅動作を繰り返し行います。

取り付け高さ 4 メートルの場合は、UV-C が 15 秒点灯、80 秒消灯の点滅動作を繰り返し行います。



### 無人モードについて(工場出荷時)

電源を入れると15秒間ウォームアップします。無人モードでは人感センサが人体を検知しないとUV-C照射が15秒点灯、30秒消灯の点滅動作をおこないます。人感センサが人体を検知するとUV-C照射が直ちに停止します。不在検知60秒後にUV-C照射を再度行います。15秒点灯、30秒消灯の点滅動作を2時間行い、その2時間以内に人感センサが人体を検知しなかった場合休止状態になります。



## 有人モードの起動時間設定

本装置は、電源を入れ直すことで有人モードのスタート時間を変更することができます。ただし、本装置はタイマを通じて、JIS Z8812 が定められた紫外線曝露の許容量は、222nm の場合 22mJ/cm<sup>2</sup>(8 時間/日)を超えないようにタイマを通じて制御しています。スタート時間を変更する時は以下内容にご注意ください。

### (1)最初に電源を入れた時

動作表示 LED が赤色の点滅状態になっていたら最初にリセット操作を行ってください(5 秒以内に連続 5 回電源を ON にします)。

仮に、最初に電源を入れる時間が午前 8 時の場合、リセットした 20 時間以内に再びリセットすることはできません。また、有人モードのスタート時間を変更することはできません。(電源スイッチを ON にしてもスタート時間は変更できません) 本装置が設置完了した時間(午前 8 時)から有人モードが自動スタートします。たとえ電源が切れたとしても、有人モードのスタート時間は午前 8 時となります。

### (2)有人モードの自動スタート時間を早めたい場合

仮に、自動スタート時間を午前 8 時から午前 6 時に変更したい場合、本装置の電源を午前 6 時に入れ直しする必要があります。なお変更完了後、スタート時間はすぐに反映されません、また当日は前日と同じ時間(この場合午後 4 時)に有人モードが終了します。翌日から再設定した自動スタート時間(午前 6 時)が反映されます。

### (3)有人モードの自動スタート時間を遅らせる時

仮に、自動起動時間を午前 8 時から午前 10 時に変更したい場合、本装置の電源を午前 10 時に入れ直しする必要があります。なお変更完了後、スタート時間はすぐに反映されません、また当日は前日と同じ時間(この場合午後 4 時)に有人モードが終了します。翌日から再設定した自動スタート時刻(午前 10 時)が反映されます。

### (4)長時間使用しなかった場合や停電があった時

長期間使用しなかった場合や(48 時間以上の)停電があった場合、自動スタート時間の設定が、電源の復旧した時間に変更されます。この場合(2)や(3)の操作を行い、自動スタート時間の再設定が必要になります。

**注意:**

24 時間内の有人モード UV-C 照射時間が 8 時間を超えないようにするため、リセット後 20 時間内に再びリセットし電源を入れ直したとしても、新しい自動スタート時間は有効になりません。この操作を実施すると動作表示 LED が青でゆっくり点滅し、設定値無効を表します、再起動すると、本装置は正常に動作します。20 時間後にリセットすると、新しい自動スタート時間が有効になります。

## 近接センサ、人感センサの動作

### 近接センサの動作

近接センサは本装置の正面 1m の距離に入った物体を検知します。検知後、本装置は UV-C 照射を強制的に停止します。物体が 1m 以上および 1 分以上検知されない場合、UV-C 照射を再開しますが、実際の照射再開は運用モードによって異なります。

近接センサは、以下の条件すべてを満たしたときに動作します。

- (1) 物体が UV-C 照射窓から 1m 以内
- (2) 照射角度が約 30 度の範囲内(図 1)
- (3) 検知持続時間 2~3 秒

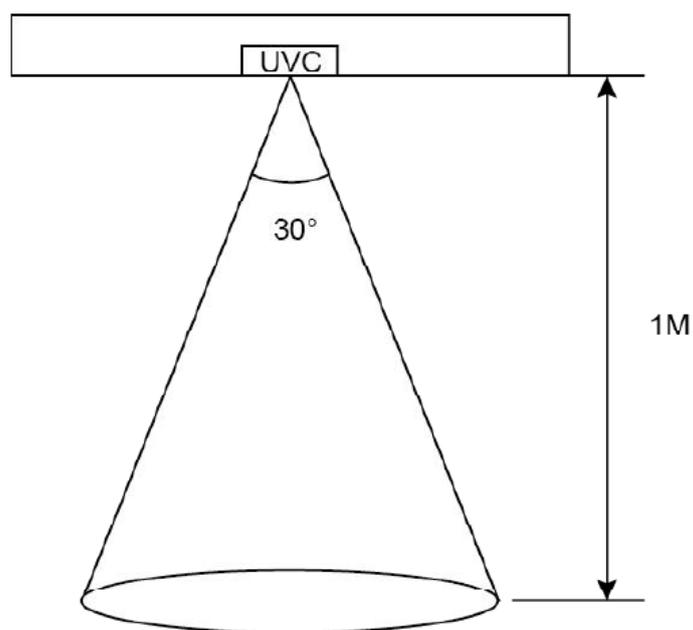
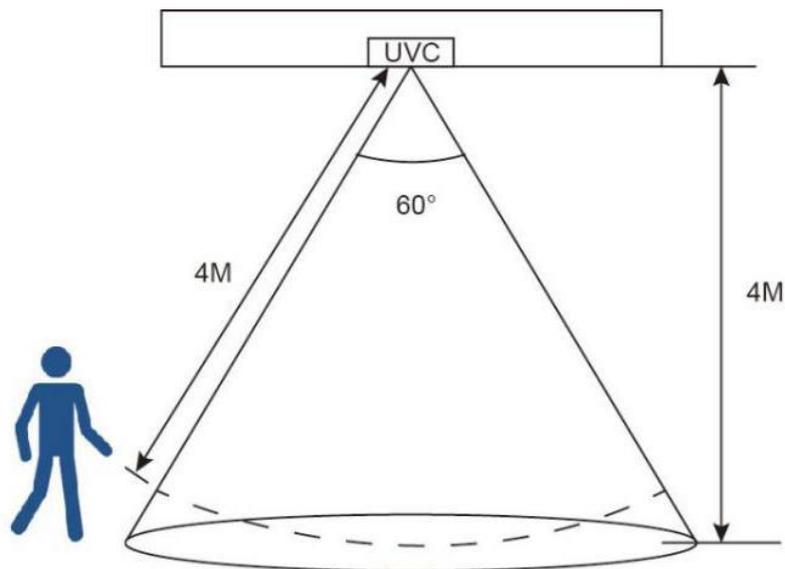


図 1

## 人感センサの動作

人感センサは、以下の条件すべてを満たしたときに動作します。

- (1) 人体との距離が 4m 以内
- (2) 照射角度が約 60 度の範囲内(図 1)
- (3) 人体の動きがある時



本センサは赤外線(熱)の変化を検知する方式となっています。このため赤外線の変化があると人体以外でも以下のような場合は検知する場合があります。

- ・窓等から入射した太陽光が反射しセンサに入射した時
- ・空調から温風または冷風が直接当たった時
- ・窓際に設置された棚に反射して太陽光がセンサに入射した時
- ・人体以外の熱源が検知エリア内を移動した時
- ・小動物などの熱源が検知エリアを移動した時
- ・気温変化等、周囲環境の影響により誤検知した時

※静止した人は検知できません。また人体の動きがほとんどない場合、検知しない場合があります。

## リセットと起動操作

### 注意事項:

設置後初めて電源を入れた際はリセット操作を実行する必要があります、リセット完了後にリセットする必要はありません。

48 時間を超えて電源を OFF にした場合など、状態表示 LED が赤色の点滅状態になった場合、本装置をリセットする必要があります。その際はリセット操作を実行してください。

### リセット操作:

5 秒以内に電源を 5 回 ON/OFF します。

※工場出荷時は無人モードにセットされています。

### 起動操作:

リセット後、電源を 1 度だけ ON にすると LED 照明と UV-C 両方が起動します。

2 回連続して電源を ON にすると UV-C のみ起動します。

## 動作表示 LED 動作表示

動作状態	ディップスイッチ		モード	動作表示 LED			注釈
	SW:1	SW:2		赤	緑	青	
LED 照明と UV-C 両方点灯	ON	OFF	無人モード	点灯	消灯	消灯	赤のみ点灯
	ON	ON	有人モード 4M	消灯	消灯	点灯	青のみ点灯
	OFF	ON	有人モード 3M	消灯	点灯	消灯	緑のみ点灯
UV-C のみ点灯	ON	OFF	無人モード	点灯	点灯	消灯	赤および緑点灯
	ON	ON	有人モード 4M	消灯	点灯	点灯	緑および青点灯
	OFF	ON	有人モード 3M	点灯	消灯	点灯	赤および青点灯
リセット				点灯	点灯	点灯	
異常発生時				点滅	消灯	消灯	リセットをしてください
ディップスイッチ 設定異常				消灯	点滅	消灯	ディップスイッチ 設定異常
UV-C 累積点灯 時間超過 ※				点滅	点滅	点滅	UV-C 累積点灯 時間 3000 時間 超過 UV-C を交換し てください

※この表示が出た際は UV-C ユニットを交換してください

## 仕様

型番	Baselight222
LED 光源	5900lm ±10%, 色温度:5000K
紫外線照度(mW/cm <sup>2</sup> ) ※	2.5mW/cm <sup>2</sup>
UV-C 光源	222nm 遠紫外線
ランプ寿命	LED:40000 時間, UV-C:3000 時間
電圧	AC100~240V, 50/60Hz
消費電力	60W
動作温度	5~40°C
保存温度	-10~+60°C
寸法	W230mm x H1250mm x D110mm

型番	Downlight222
LED 光源	750lm ±10%, 色温度:5000K
紫外線照度(mW/cm <sup>2</sup> ) ※	2.5mW/cm <sup>2</sup>
UV-C 光源	222nm 遠紫外線
ランプ寿命	LED:40000 時間, UV-C:3000 時間
電圧	AC100~240V, 50/60Hz
消費電力	25W
動作温度	5~40°C
保存温度	-10~+60°C
寸法	Φ170mm x D121.5mm

※弊社標準環境において照射窓から 50mm の位置の数値

修理、お取り扱い、お手入れについてご不明な点はお買い上げの販売店(工事店)へご相談ください。

## 保証

### 保証について

- 1.保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。無人モードの場合は、保証期間は半年です。
- 2.ランプなどの消耗品は保証対象外とさせていただきます。
- 3.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理させていただきます。

### 修理を依頼される時

- 1.保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 2.保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 3.アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- 4.修理お申し出の際は器具の型番、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

### 保証の免責事項

- 1.保証時期内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。
  - ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - ・ご購入時設置後の設置場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  - ・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
  - ・施工上の不備に起因する故障や不具合
  - ・法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
  - ・日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 2.離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

## 部品について

1.修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

2.修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

3.補修用性能部品の保有期間

弊社は UV 照射器の補修用性能部品を製造打ち切り後 6 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## 株式会社 ASK TRADING

〒341-0018 埼玉県三郷市早稲田 4-10-8

Tel:048-951-5822 Fax:048-951-5823

Mail:info@cepsa.jp